

令和5年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立忍岡高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、経営企画室長、総務広報部主任、総務広報部担当 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、総務広報部主任、教務部主任、進路指導部主任、生活指導部主任、ホームルーム担任（3年次主任） 計8名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者(大学教授)2名、大学関係者1名、地域産業界代表者1名、近隣自治会長1名、警察署員1名、消防署員1名、近隣中学校長1名、近隣小学校長1名、同窓会長1名、PTA会長1名 計11名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月7日（水）内部委員9名、協議委員6名
校長挨拶、協議委員委嘱、副会長・評価委員の選出、学校運営連絡協議会趣旨説明、今年度学校経営計画、本校の現状と課題について、事務連絡
 - 第2回 令和5年10月25日（水）内部委員8名、協議委員4名
校長挨拶、本校の教育活動、令和5年度学校評価案、意見交換、事務連絡
 - 第3回 令和6年3月4日（月）内部委員9名、協議委員8名
校長挨拶、学校経営報告、学校評価アンケート結果及び考察、本校の現状と課題
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月7日（水）内部委員4名、協議委員4名
基本方針、今年度実施の流れ、昨年度学校評価結果の確認
 - 第2回 令和5年10月25日（水）内部委員4名、協議委員4名
今年度学校評価アンケートの内容および実施方法についての検討
 - 第3回 令和6年3月4日（月）内部委員4名、協議委員3名
学校経営報告、今年度学校評価アンケート結果について

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校運営」「学習指導」「生活指導」「進路指導」「特別活動」「健康・安全」「施設・設備」及び「地域・保護者等外部との連携」とする。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模（635人中）※アンケートフォーム利用
 - ・11月 全校生徒 対象628人 回収率 93%（4ポイント↑）
 - ・11月 保護者全員 対象628人 回収率 54%（26ポイント↑）
 - ・11月 地域住民 対象30人 回収率 0%（94ポイント↓）
 - ・11月 教職員 対象63人 回収率 94%（19ポイント↑）
- (3) 主な評価項目
学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、健康・安全、施設・設備、教員の働き方改革等の評価項目について、学校実態に合わせて適宜設定する。
- (4) 評価結果の概要
 - ・生徒、保護者ともに概ね学校生活に満足している結果であったが、学校の様子が十分に伝わっていない部分もある。
 - ・授業の進度・理解度は概ね肯定的意見が多いが、昨年度に比べ教員と生徒との間に意識の差がみられた。
 - ・進路指導の支持率が全体的に下がった結果となった。
- (5) 評価結果の分析・考察
 - ・学校生活の充実度が全体的に高い傾向がみられた。感染症による制限がなくなり、学校行事が実施できたことが影響していると考えられるが、教職員と比較すると生徒はやや低い数値であったため、原因を探る必要がある。
 - ・保護者については学校生活全般に肯定的回答が多くみられたが、「わからない」の回答も一定数みられることから、校内の状況、取り組みが十分に伝わっていないことがうかがえた。学校公開

期間が平日だけであることから授業参観に来校する機会が少ないことも影響していると考えられる。また、生徒・保護者に情報を速やかに発信する工夫が必要である。

- ・進路指導の充実度についての評価は生徒、保護者ともに昨年度よりも低い結果であった。教育課程の変更に伴い、定期的な進路指導の機会が減少したことが影響していると考えられる。入学時からの組織的な進路指導体制の見直しを図る必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

本校の学習環境、進路指導方法の工夫や課題、広報活動の工夫等について協議委員、内部委員が協議をかさね、認識を共有した。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・個別最適な学びの充実と組織的な進路指導体制によるキャリア教育の一層の推進が必要である。
- ・地域住民・地域企業と協働して生徒を育成するために、学校の目標やビジョンを共有することが課題である。
- ・より適正な評価を行うためには、情報提供の機会を増やす必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。

（2）学習指導

- ・個別最適な学びのための学習支援を検討する。

（3）進路指導

- ・低学年からの計画的な進路指導体制、キャリア教育の改善を図る。

（4）健康・安全

- ・コンディショニングレポートの活用促進および保護者への教育相談体制の情報提供を促進する。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

特になし。

7 その他

学校評価について地域関係者の回答を得るための方策の検討が必要である。